横浜天声キリスト教会　週報　第17巻48号（No.668）　2022年11月27日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　啓示録22:16-17 ……御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 …… 106番　エサイの根より
*交読文 …… 55番
*使徒信条 ……会衆一同
*頌栄 …… 107番　永遠の門ひらけ
礼拝のための祈り …… 成田エクレシア：河執事　天声：小林伝道師
賛美 …… 104番　久しく待ちにし
メッセージ …… 主のご到来を祈り備えよ(黙示録22:20)
御言葉を適用する祈り ‥ 会衆一同
賛美 …… 103番　羊飼い主
幸せと成功の宣言文 ‥‥ 会衆一同
献金感謝の祈り …… パスター
報告 ……
*主の祈り …… 会衆一同
*祝祷 …… パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

主のお語りになったことが必ず成就すると信じた____は、なんと、さいわいなことでしょう。（ルカ1:45）
「わたしはダビデの根、また子孫、輝く明けの明星である。」御霊も____も言う。「来てください。」これを聞く____は、「来てください」と言いなさい。渇く者は来なさい。いのちの水がほしい____は、それをただで受けなさい。（啓示録22:16-17）
その時、____はわたしに呼ばわり、来て、わたしに祈る。わたしは____の祈を聞く。____はわたしを尋ね求めて、わたしに会う。もし____が一心にわたしを尋ね求めるならば、わたしは____に会うと主は言われる。わたしは____の繁栄を回復し、____を万国から、すべてわたしが____を追いやった所から集め、かつ、わたしが____を捕われ離れさせたそのもとの所に、____を導き帰ろうと主は言われる。（エレミヤ29:12-14）

メッセージ概要

本日より待降節（アドベント）が始まる。それは、主の「ご到来（アドベントゥス）」を待ち望む期間である。先週、キム・ヒョンジョン博士が来日し、主イエスの恵み教会にて、コーエン・ジャパンの講義が持たれた。時勢がどんどん緊迫している昨今、ますます主のご到来が近づいている事の実感できる講義だった。

啓示録という書は、一般書籍のように、1章から22章までを順番どおりに時系列として読み解いていこうとすると、わけが分からなくなってしまう。大昔の事が記されているかと思えば、未来の事に話が移ったり、地上の事が記されているかと思えば、天上の事に話が移ったり、この世が終わったかと思えば、まだまだこの世が続いて話が進んでいたりしているのだから。主イエス様は、「時」を超越し空間も超越しておられると、啓示録の最初に宣言されている(黙示録1:8)。だからこの書を読み進めて行くには、今、読んでいるこの内容は、いつの事を、どこの事を、誰の事を言っているのか、キーワードを見分けて、Aに対応するA’を見つけて、キアズム構造を浮かび上がらせていくなら、理解できるようになっている。
そして啓示録は、説明つきの書であり、説明を読めば分かる書である。たとえば7章(A)の説明が14章(A')に記されていたり、9章と20章はキアズムのペアを構成して互いが補完的に説明している事がわかる。詳細を知りたい方は、ぜひコーエンジャパンの講義を受講していただきたい。

今回の講義で特に強調された事は、7つの審判、すなわち7つのラッパ(8章)と、7つの鉢(16章)は、キアズムのペアで、それぞれは同じ審判を表している、という事だった。たとえば、第一のラッパと第一の鉢は同じ「地上」に対する審判を指しており、ラッパが吹き鳴らされる事は、審判の開始の合図を意味し（民数記10章）、その時、地上の三分の一が焼けるが、その審判が成就する時には（鉢がぶちまけられると）、地に住む獣の刻印を受けている人々に悪性の腫れ物ができる。第二のラッパと鉢は、「海」に対する災いで、第二のラッパが吹かれる時、火の燃えている山のようなものが海に投げ込まれ、海は血に変わり(8:8)、当初は海の生物の1／3が死に絶えるが、段々ひどくなり、末期には海の生物が全部死に絶える(16:3)。

2022年現在、最初のラッパは、まだ吹かれていない事が分かる。なぜなら、終末の審判が始まる条件の一つは、主が定められた殉教者の数が満ちる事(6:11)、もう一つは、異邦人の救いが満たされユダヤ人が一気に救われる事で(ローマ11:25,26)、それらの条件は、まだ満たされていないからだ。しかし、その時が近い事は、昨今の出来事を見れば明白で、それらが満ちた時、審判の開始のラッパが吹かれるのだろう。

アドベントは、主のご到来を待ち望む期間であるが、この、終末が近づいている今、私達は、私達の内のあらゆる感情や思い、願いをこめて、主の良き御心が成ることを、祈り求めなくてはならない。
「祈り」のヘブライ語はテピラー（תפלה）、それはテフィリン（תפלין）が元である。すなわち、祈りは本来、御言葉そのものに自分の感情や思い、願いを乗せた祈りである。 私達はテフィリンを、単なる「暗唱」と片付けてはならず、私達自身と、神様の言葉とを混ぜ込んだ「祈り」と見るべきなのだ。 主は言われた。まず神の国とその義を「求めなさい（祈りなさい）」、そうするなら全てのものを、加えて与える、と(マタイ6:33)。
それなのに私達は、なんと逆の事をしている事が多い事だろう。私達が願う全てのものを、まず求めてから、あと付け的に、神の国とその義がなりますように、と祈っている。それは「異邦人の祈り」である。
私達は御言葉に従い、御心が天で成るように、地で成りますように、そしてこの終末の時代、神様が組まれたスケジュールが、神様の御胸どおりに、この地で行われますように、と祈るのだ。私達自身が、神の国と神様の御心へ、乗り物のごとく乗っかって、祈るなら、聖書に書いてある通りに、それが成るのである。

イエス様は私達を、こよなく愛され、罪の中に死んでいた私達を生かすために、十字架上で血を流して下さり、『その血によってわたしたちを罪から解放し、わたしたちを、その父なる神のために、御国の民とし、祭司として下さった。』(黙示録1:6)　私達はキリストにあって、王とされ、祭司とされた・・・。なんという素晴らしい特権であろう。この終わりの時代、祭司として執り成し祈り、王として御言葉によって世を支配し、大いに神の国をもたらす働きをして行く私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	礼拝 11:30
English Service	15:00

日々の集会

月～金　早天祈祷会	5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会	13:00～
火～木　夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会　19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 17 巻 48 号　　2022 年 11 月 27 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@yahoo.co.jp